



燕市立燕東小学校 学校だより

令和6年7月18日

No. 4

↓学校ホームページ

あすなろ



考えること・行動すること ～本から広がる世界～

校長 鈴木 華奈子

読み聞かせの時間は、子どもたちにとって、とても豊かな時間です。読み聞かせボランティアの皆様、他のクラス担任、どなたからどんな本の世界へ誘っていただけるのか、わくわく・ドキドキの楽しみがあります。

その読み聞かせの一冊にこんな物語がありました。

強く美しい自分こそが王様にふさわしいと思うAが、優しく働きもののBの人気を気にして、Bの悪い噂を言いふらします。はじめは、人はBの優しさを知っているのに、Aの話を信じませんでした。ところがしだいに「私もその話、聞いた。」と、同じ話を知っているだけで、人々はBを悪く疑うようになりました。そして、Bの悪い噂は膨れ上がり、噂は「真実」のように広がりました。でもBは何も言いません。誤解はいつか解けると思っていたからです。

しばらくして、Aが王様になりました。しかし、Aは王様になると、自分だけ贅沢に暮らし、貧困にあえぐ庶民を見ようともしません。そのうちAは、他の国に「生意気だ」と戦争をしかけました。たちまち国は荒れ果て、街は崩壊しました。人々は嘆きます。「なんてひどい王だ。Bが王になっていたら…。」あの日、悪い噂を流した人達は「聞いた話を人に教えただけ」と言います。

「本当にAだけが悪かったのか？」と、何もなくなった街で一人がつぶやきました。

この物語を全校朝会で子どもたちに紹介しました。

「〇〇さんが□□さんのことを△△って言っていたよ」と、聞いた話を他の人に伝えたいときがあるかもしれません。でも、この物語のように、あとで後悔しないために 考えたいね。「この話を伝えることで傷つく人、困る人は、いないかな」って。思い当たるときは「伝えない」。「伝えない」ことで、その人も自分たちも守ることができるかもしれないものね。

SNS等でいろんな話題を受信・発信することができる今、この物語は「ただのつくりばなし」とは言えない深いメッセージが込められているように思います。「考えないこと」「行動しないこと」が何を生むのかを。

6月は、読書旬間と家読（うちどく）の取組がありました。おうちの方・ボランティアの皆様のご協力により、子どもたちは多くの本に出会うことができました。ありがとうございました。引き続き子どもたちが様々な本に触れるなかで、新たな興味や気づきを得ることを大切にしていきたいと思えます。



佐渡の魅力発見！全力で楽しんだ、2日間！～修学旅行 in 佐渡～

6学年主任

6月5日（水）・6日（木）に、佐渡に修学旅行に行きました。1年生が願いを込めてくれた「てるてる坊主」を持って出発。おかげで weather に恵まれ、2日間の旅がスタートしました。

佐渡1日目。まず、船を降りて最初に向かったのは、トキに会える「トキの森公園」。トキを間近で見ることができました。バスの中から野生に放鳥されたトキを見ることができた子もいたようです。次に訪れた「西三川ゴールドパーク」では、夢中になって砂金採り。採った砂金はケースに入れて持ち帰ります。佐渡のお土産の一つになりました。その後、たらい舟の操舵体験へ。思うように進めず苦労している子がいる一方、コツをつかみ、すいすいと進むことができた子もいました。太鼓体験では、偶然にも燕北小の6年生と合同で活動することに。見たこともないくらい大きな太鼓と大きなバチに驚き、そこから出る重厚感のある音に魅了されました。宿泊先のホテル万長では、海が一望できる露天風呂でくつろぎ、食事には海鮮がたくさん出て、佐渡ならではの食材を堪能しました。

佐渡2日目は、「きらりうむ佐渡」「北沢浮遊選鉱場」「佐渡金山」と、佐渡金銀山に特化した日程です。きらりうむ佐渡では、佐渡金銀山全体の価値を映像やプロジェクションマッピング、資料等で学ぶことができました。その後、東洋一の浮遊選鉱場跡や徳川幕府300年の財政を支えた金銀山跡を巡り、江戸時代から近代までの歴史を肌で感じるすることができました。

青くて穏やかな海や佐渡の自然、歴史文化をたくさん楽しんだ2日間でした。また、いろいろな場面でのあいさつや司会、感想発表など、48人全員が役割をもって臨んだ修学旅行は、子どもたちを大きく成長させてくれました。



笑顔と「ありがとう」がいっぱいの学校へ～いじめ見逃しゼロの取組～

生活指導主任

6月は、いじめ見逃しゼロ強調月間でした。本校では、この期間にいじめアンケートや教育相談など実態をつかむ取組の他に、いじめの未然防止の観点からもさまざまな取組を行いました。特に、一人一人を大切に、いじめを無くす「学年1取組」では、いじめを生まないために日頃からどう活動していけばよいのかを各学年で考え、一年間を通じて行う活動を話し合い、実施しています。「友達の良いところを伝え合う」「相手の気持ちを考え、相手の立場に立って行動をする」など、学年の発達段階に応じた内容で取り組んでいます。活動の様子は、体育館入り口に掲示されていますので、来校の際はご覧ください。

また、6月の児童朝会では、「いじめ見逃しゼロスクール集会」を行いました。各学年の取組を全校に紹介してもらい、最後に生活向上委員会の掛け声で、いじめ見逃しゼロ宣言をしました。みんながいじめのない学校を作っていこうという気持ちを高めました。

さらに、なかよしあすなろ班ごとに制作した「あすなろの木」も木の部屋の前に掲示されています。異学年交流で感じたペアへの感謝の思いや良いと思った姿などをその都度カードに書き、木に貼って、「あすなろの木」を温かい気持ちで大きくしていきます。

いじめは、どこの社会でも起こりうることだと言われますが、燕東小学校は、毎日の仲間との関わりを大切にしていじめを生まないようにし、仮にいじめが起きたとしても、即時対応に全職員で努めています。何かお気づきの点、ご心配な点がありましたら、いつでもお知らせください。

